

実現が第一。 この地の声と日本の未来に責任 英敬 9柱 2026

1. 「1人1人の『使えるお金』や手取りを増やし、暮らしに安心と希望を」

生活者目線での物価高対策や飲食料品の消費税ゼロ実現に向けた取組、現役世代・若者・中間層に光をあてた社会保険料軽減・所得税抜本改革、低・中所得世帯に手厚い支援を行う「給付付き税額控除」導入を推進します。実質賃金プラスで毎年手取りや使えるお金が増えている社会に。

2. 三重県南部の「希望と安心」

南海トラフ巨大地震等に備え、「徹底した防災・減災対策と国土強靭化」を推進。近畿自動車道紀勢線の早期整備・4車線化、東海南海連絡道路等の整備への機運再燃成、宇治山田港堤防整備など「三重県南部の社会資本整備」を加速。「地域医療」、郵便局やガソリンスタンド等の地域ネットワークを守ります。「持続可能&もうかる農林水産業」「離島・中山間地の振興」を推進。遷宮行事やG7伊勢志摩サミット10年等を契機とした「観光再生」を進めます。

3. 「国のかたち」

憲法・皇室典範改正、人口減少対策、東京一極集中是正

自衛隊明記や緊急事態条項など憲法改正の早期発議、古来例外のない男系継承の重みを踏まえた皇室典範改正に尽力。人口減少対策や、首都機能のバックアップ体制構築等で東京一極集中是正を推進。東京都の超過税収の地方分配を進めます。

「責任ある積極財政」で、物価高からみなさまの日々の暮らしを守り、「強い経済」を実現します。

私すずき英敬は、地元の皆様のおかげで、現在、高市政権を自民党の「ど真ん中」で支える仕事をさせていただいている。将来の日本と皆様の日々の暮らしに責任を持ち、政策を決断・実現できるのは、唯一自民党であり、私もその一員です。今後も「政治の父」である故・安倍晋三元総理の遺志も継いで、三重県知事時代に皆様から育てていただいた決断力と実行力で、国民の皆様と地元のため、働いて、働いて、働いてまいります。

4. 「世界の中に立つ『日本外交』を取り戻す」

日米同盟を基軸に自律性を高める外交を展開。台湾海峡の平和と安定に貢献し、力による現状変更に断固対応。日中関係は「歴史に恥じぬ外交」を展開。拉致被害者全員の即時帰国とTPP拡大を進めます。

5. 「自らの国を自らの手で守る日本」

宇宙・サイバーなど「新たな戦い方」を踏まえた国家安全保障戦略改定、防衛装備移転ルールの見直し、インテリジェンス機能強化、サイバー対策、海底ケーブル強靭化、食料・エネルギーなどの経済安全保障に取り組みます。

6. 「秩序ある国」へ

外国勢力の情報干渉を防ぐ「外国干渉防止法（仮称）」を創設。外資規制の法整備、外国人の土地取得に関する新たなルール整備、厳格な出入国管理、公平な税・社会保障制度の構築、メガソーラーなど再エネ政策の見直しに取り組みます。

7. 「教育立国」「少子化対策・子育て支援」

条件不利地域の教育格差是正、教員確保・待遇改善、教育DX、理科・情報教育、特別支援教育、いじめ・不登校対策を推進。子育て世帯の収入増等、多子世帯の高等教育無償化拡大、出産費用軽減、こども性犯罪防止を進めます。

8. 全ての世代が安心できる持続可能な社会保障

医療・年金・介護など全世代が安心できる社会保障制度を構築。医療等人材の賃上げと環境改善、現役世代の社会保険料軽減、「年収の壁」見直し、創薬・安定供給に資する薬価制度、感染症危機対応、認知症対策を進めます。

9. 「政治改革・党改革」—政策実現のための大前提—

多党化やSNS拡散が進んだことを踏まえ、選挙制度と政治資金制度の改革を推進。被選挙権年齢引下げも推進。実績重視の人事と広報改革で自民党の信頼回復と世代交代を進めます。

自民党

前・衆議院議員
自民党政調会長特別補佐
前・三重県知事



プロフィール

昭和49年8月15日生まれ。東京大学卒業後、通商産業省（現経済産業省）に。平成23年、当時全国最年少36歳で三重県知事就任（3期）。令和3年、衆議院議員選挙初当選（三重4区）。令和4年、内閣府大臣政務官を拝命。令和6年、衆議院議員選挙2期目当選。自民党政調会長特別補佐、総務部会長、日本成長戦略本部・外国人政策本部・デジタル・サイバーセキュリティ・創薬等の事務局長等の多数の役職に就任。妻はアーティスティックスイミング五輪メダリストの武田美保。一男一女。

す
ず
き
英
敬
え
い
け
い